

社会福祉法人ユタカ福祉会
令和5年度 事業報告書

◎ 喜連西デイサービス（一般デイサービス・和みデイサービス）

○総括

令和5年度は新型コロナウイルスが第5類の扱いとなり、行動制限も緩和された。これにともない、徐々にではあるが利用者の利用も増えてきている。当施設でも感染予防対策として引き続きマスク着用・手洗い・うがい・手指消毒等の徹底し、設備面では最新の空気清浄機を多数導入し、よりすごしやすい環境を整え、利用者が快適に過ごせるよう心掛けている。

行事面においては外出行事を再開し「桜珈琲の選べるケーキセット」「能勢のいちご狩り」「サーティワンのアイスクリームツアー」「道の駅でお買い物」「しらとりの郷へ桜を観に行こう」など開催した。施設内行事では利用者の目の前で調理パフォーマンスする「揚げたて豪華天ぷら」「ちゃんこ鍋」「すき焼き」等を提供し、利用者の満足度が少しでも得られるように企画した。どんどんと新しい内容の行事を取り入れ、利用者の活気と意欲向上に尽力し、大いに喜ばれることとなった。

地域交流においては、地域行事にも参加しやすくなったが本年度は地域住民と交流する機会があまり図れなかった。当施設で飼育しているヨウムやインコ、ミミズクがデイサービスのマスコットキャラクターとなり、施設付近を通る多くの地域住民が立ち寄っていただくこととなり、それをキッカケとして交流を図る事が増えている。当然ではあるが、地域住民に積極的に挨拶を行う事は継続して努めている。引き続き交流を図る事で、施設の認知度向上と地域の拠点となる様に努めていく。また、今年度も地域主体の防災訓練も参加し、地域ぐるみで防災の知識を共有する事が出来ている。利用者も参加し真剣に取り組まれていた。引き続き地域の活動も積極的に参加する事で、地域としての連携強化が図れる様に努めてきた。

令和5年度の一般デイ（予防含む）・和みデイの平均登録利用者数は134名。（一般デイは112名、和みデイは22名。）自事業所、他事業所等も含めて59名のご紹介を頂き、利用に繋がったのが43名となっている。登録者数は前年度に比べて、若干の増加となったが、ご紹介や新規登録者は前年度よりも減少傾向、体調不良による入院、入所や他界等での中止者が多い年度となった。ただし、年度末にかけてご紹介や新規利用者が増加傾向にある為、令和6年度は以前の様に多くの利用者で活気があふれる様な施設となる様に、職員が一丸となって適切な支援に努める。和みデイに関しても若干の減少となっているものの、令和6年に入り、新規利用者が増えてきている。引き続き、和みデイの特色を生かした支援を広められる様に尽力する。新型コロナウイルスが第5類の位置づけとなり、様々な場面で行動制限の緩和にともない、自粛していた外出行事も企画し実施した。引き続き感染症対策を講じた上で、利用者にとって活力と意欲が得られる日々を、適切なケアのもとで送れる様に尽力する。

○令和5年度 喜連西デイサービス・喜連西デイサービス和み・喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたかスローガン

- ・～住み慣れた地域で、その人らしい生活が継続できる様に～
「共感・共有」を大切に、寄り添った支援に努める。
- ・～「大きな心と細やかなケア」をモットーに～
ご利用者様の笑顔・喜び・出来る能力を引き出せる支援体制。
- ・「報告・連絡・相談」を確実にを行い、情報共有の徹底に努める。

○年間売上表

- ・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般デイ	7,488 (86)	7,166 (81)	7,147 (83)	7,072 (86)	6,005 (80)	6,328 (80)
和みデイ	2,936 (23)	3,006 (24)	3,033 (24)	2,914 (23)	2,348 (23)	2,413 (21)
予 防	689 (22)	761 (26)	711 (23)	716 (24)	693 (24)	618 (21)
合 計	11,113 (131)	10,933 (131)	10,891 (130)	10,702 (133)	9,046 (127)	9,359 (122)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般デイ	6,949 (80)	7,623 (81)	7,681 (81)	7,051 (81)	6,846 (83)	8,210 (86)
和みデイ	2,832 (21)	2,866 (23)	3,031 (27)	2,625 (24)	2,881 (27)	3,539 (28)
予 防	563 (21)	529 (20)	611 (22)	654 (22)	579 (19)	654 (23)
合 計	10,344 (122)	11,018 (124)	11,323 (130)	10,330 (127)	10,306 (129)	12,403 (137)

- ・令和5年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般デイ	7,999 (89)	8,683 (90)	7,974 (87)	8,088 (88)	8,261 (92)	8,058 (92)
和みデイ	3,629 (30)	3,506 (27)	3,245 (26)	3,295 (24)	2,821 (21)	2,750 (20)
予 防	680 (24)	692 (23)	687 (24)	717 (24)	631 (24)	615 (21)
合 計	12,308 (143)	12,881 (140)	11,906 (137)	12,100 (136)	11,713 (136)	11,423 (133)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般デイ	7,521 (92)	7,085 (91)	7,090 (90)	7,192 (88)	7,174 (86)	7,356 (89)
和みデイ	3,132 (23)	3,106 (19)	3,038 (20)	3,109 (20)	2,782 (20)	3,226 (19)
予 防	705 (24)	699 (23)	658 (23)	661 (23)	620 (22)	596 (19)
合 計	11,358 (139)	10,890 (133)	10,786 (133)	10,962 (131)	10,576 (128)	11,178 (127)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

◎ 喜連西デイサービス行事報告書

令和5年

4月20日	桜珈琲へ行こう	担当：安部・長富・増田
5月3～6日	菖蒲湯	担当：松永・安部
5月24・25日	いちご狩り	担当：長富・安部・増田
6月19～25日	サーティワンアイスツアー	担当：松永・安部
7月24・25日	道の駅しらとりの郷でお買い物ツアー	担当：喜安・安部・加藤
8月29日	夏祭り	担当：山下・長富・安部
9月28日	敬老会	担当：安部・喜安・松永
10月26日	運動会	担当：長富・山下・安部
11月21日	文化祭	担当：松永・喜安
12月22日	クリスマス会 餅つき大会	担当：喜安・安部・山下
12月21～ 24日	柚子湯	担当：安部・三光寺

令和6年

1月19日	初詣	担当：長富・安部
1月23日	新年会	担当：松永・安部
2月3日	節分	担当：松永・長富
3月22・23日	お花見	担当：安部・山下

※その他、随所でサプライズオヤツの提供や、写真撮影会、近隣散策活動を実施。

◎ 喜連西ケアプランセンター

○総括

令和5年度においては、体調を崩され入院となり、在宅生活が困難との判断でやむを得ず施設入所となった方や、状態が悪化し、他界された方も多くあった。また、職員の退職もあり当事業所で継続しての対応が困難となり、他事業所へ受け入れ依頼を行った事で前年度に比べ約延べ90ケースの減少となっている。

業務面においては、職員の退職に伴い現職員に負担がかかった時期もあったが、職員が一丸となり、他部署の協力も得て利用者に影響が出ないように取り組んだ。しかしながら、これにより職員互いにフォローしあい、報告・連絡・相談を常に行い、自身の担当以外の利用者の把握もさらに理解できる良い機会であったと考える。職員間の信頼関係をより一層深かめ、それにより得られたチームワークを次年度においても維持・継続し、新規獲得も含め、より良いケアマネジメント業務が実施できるように努め、地域に信頼される事業所を目指す。

○年間目標について

① 利用者様本位のサービスの充実

住み慣れた地域でその人らしい生活が続けられるように、心身の状況・利用者の取り巻く環境を常に確認しながら、利用者や家族の意向を聞き取り、各種サービスが偏ることなく、効果的に提供されるよう配慮し、利用者の選択に基づいたサービスに繋げる事が出来た。その結果生活状況が改善された方が多くみられている。また、困難事例においては職員全員で共有し、いつでも対応出来るように心がけ、利用者様や家族様の不安を取り除き、その結果、信頼関係の構築もできている。今後においても継続して実施していく。

② 介護支援専門員としての資質向上・専門性の向上

昨年に引き続き、各自が年間目標を立て、外部研修参加し、施設内研修やケース検討会を実施した。ケース検討では他部署からの意見も参考にし、違う立場からの視点や意見を聞く事でより良いサービスに繋がるよう、一人ひとり意見を出し合い、あわせて、担当者間の情報共有や連携を図ることが出来ている。外部研修参加後には必ず普及研修を行う事で確実に自分のものとしスキルアップにつながっている。6年度は法改正もあり、今後ますます介護支援専門員としての専門性が問われる時代となる。次年度においても、専門職としての知識を高める為、各自で情報を収集し、個人の知識としてだけでなく、職員間での情報共有とし、スキルアップに繋げることはできている。

③ 事業所としての資質向上

特定事業所として法令に基づき、事業所として公平中立性を確保しながら、複雑な問題を抱える地域の利用者様に対して事業所全体で積極的に関わりを持ち、地域に貢献できている。次年度においてもさらに地域の方々に目を向け、多様な角度から地域を支えていけるよう、事業所として取り組んでいく。

④ 関係機関との連携強化

・職員との連携と職場作り

事業所内において引き続き「相談しやすい環境」を意識し情報共有に努めた。職員同士が互いにフォローしあえるよう、報告 連絡 相談を常に行うことで、自身の担当以外の利用者様の把握ができ、職員間での信頼関係も年々深まっていると確信している。次年度においても維持・継続できる環境作りに努める。

・地域包括支援センターとの連携

今年度においても地域の困難事例等を積極的に受け、助けていただきながら事例の解決に至ったケースは多数あった。事例解決後も報告を怠らず、関係性の維持ができている。次年度においても包括への報告や連絡等を常に行い、さらに信頼していただける事業所を目指す。

・協働連携

訪問介護や通所介護等からの連絡や情報提供をもとに利用者様の新たなニーズを抽出し、サービスの見直しを行うことで在宅生活がより充実するように心がけた。その後についても情報を共有することで結果、入院や入所になることなく在宅生活が継続でき、利用者様や家族様に喜んでいただくことができている。今後においても地域に頼られる事業所となるよう協働連携を行っていく。

・医療との連携

医療ニーズの高い利用者様も年々増えてきている。早急な対応を求められる事が多く、医療・介護をつなぐ役目として、今までの経験を活かし、また、あたりに必要とされる知識や対応策を学びながら実施できた。今後においても役割分担を明確化し、医療連携の強化に努める。

⑤ 安定した事業運営

毎月の新規契約はあるものの、入院や入所の方が昨年よりも増加している事、職員の退職もあり、登録人数は減少している。事業所内での共有を強化し、意見を出し合いながら入院・入所を防ぎ、利用者様数の安定に繋げる。また、包括や病院より新規紹介をしていただけるよう、日頃の関係性の維持に努める。

⑥ 経費削減対策を強化

必要以上の事務用品の使用や印刷ミス・その他の無駄が無いように各職員がそれぞれ意識を高め実施できている。今後も事業所内で意識を高めていく。

⑦ 感染予防対策の徹底

新型コロナの対応は徐々に緩和されつつあるも気を抜かず、利用者様や家族様への呼び掛けを継続している。その成果もあり罹患されても、重症化することなく在宅生活を継続出来ている。職員においても同様の対応を継続し、業務への支障なく実施できている。次年度においても繰り返し研修を実施し、感染予防対策を周知徹底していく。

⑧ 防災への取り組み

利用者様宅への訪問時に、利用者様自身の防災への認識や取り組み、意識の確認を行い、不足と感じた事に対して個々に助言を行っている。おひとり住まいの方や認知症を患っている方も多くおられる為、そういった方たちへの対応については検討が必要と感じられる。次年度は事業所全体で状況の把握に努めるよう日頃より情報を共有し、

また、地域との繋がりを深め、助け合えるよう関係性を築いていくよう努める。

⑨ 情報管理の徹底

個人情報取り扱いについては、目的の範囲内で最小限に努め、情報提供の際には再度その利用者様、家族様に確認を行っている。また、繰り返し事業所内での研修や法人研修に参加する事で情報の取り扱いに対する意識を高めることはできている。次年度においてもより気を緩めることなく、管理の徹底に取り組んでいく。

⑩ 苦情・要望への対応

5年度においては苦情や要望の対応件数は減少となっている。職員一人ひとりが利用者様、家族様に真摯に向き合い対応している成果であったと思われる。次年度においても意識を高め、心のこもった対応を心掛ける。

○令和5年度 喜連西ケアプランセンタースローガン

- ・利用者様一人ひとりの声を受け止め、精神誠意を尽くします！
- ・ユタカな心で自分らしく！ 包括的なネットワーク作りに努めます。
- ・職員同士で連携強化！ 全ケースの把握を目指します！

○令和5年度 外部研修

開催日	演題 議題 (主催者)	実施内容	出席者
4月26日	大阪市自立支援型ケアマネジメント伝達研修・情報提供 (瓜破地域包括支援センター)	・膝関節症による膝・腰痛、立ち上がり時にふらつきがみられる方の事例 ・リハビリテーション職からの抗議	長原
9月15日	高齢者虐待研修	・平野区の高齢者虐待の現状 ・ケアマネとして押さえておくべき虐待対応	松本 河越
9月21日	第三支部交流会 (平野区居宅改組支援部会)	社会資源の情報交換 配食・訪問理美容・集いの場 等 介護保険外サービスで利用者のQOLの向上を目指そう	河本 長原
10月14日	平野区認知高齢者支援ネットワーク連絡会 (平野区医師会)	意思決定支援	松本 河越
10月19日	地域包括ケア多職種連携会 ((株) ケーエスケー)	なぜ地域包括ケアシステムが必要なのか?	河本
11月28日	ケアマネジメント (バディーズケア阿倍野)	居宅サービス計画作成のポイント	松本
12月16日	適切なケアマネジメント手法の策定 ((株) 日本総合研究所)	適切なケアマネジメント手法及び初学者向けのチェックリストに関する講義	松本
令和06年 1月23日	多職種連携会 ((株) ケーエスケー)	排尿障害について	長原
令和6年 2月16日	大阪市自立支援型ケアマネジメント伝達研修・情報提供 (瓜破地域包括支援センター)	ケアマネージャーが出来る栄養支援につて	河越
令和6年 3月7日	専門職向け研修会 (ウィルさぼ@平野・長吉地域包括支援センター・ひらのオレンジチーム)	若年性認知症研修	河本
令和6年 3月13日	大阪市自立支援型ケアマネジメント伝達研修・情報提供 (喜連地域包括支援センター)	自立支援検討会議において検討した事例についての周知及び講義	

○年間売上表

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	3,314(184)	3,310(186)	3,394(190)	3,649(202)	3,577(202)	3,619(200)
予防	131(27)	144(30)	124(29)	115(27)	132(30)	131(29)
区分変更	(8)	(6)	(5)	(2)	(5)	(10)
合計	3,44(211)	3,499(216)	3,518(219)	3,764(229)	3,709(232)	3,750(229)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	3,686(206)	3,766(211)	3,689(208)	3,616(202)	3,860(214)	3,919(220)
予防	141(32)	128(30)	128(30)	131(30)	120(28)	118(27)
区分変更	(5)	(4)	(4)	(6)	(7)	(4)
合計	3,827(238)	3,894(241)	3,817(238)	3,747(231)	3,980(242)	4,037(247)

・令和5年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	3,980(221)	3,798(213)	4,079(227)	3,576(200)	3,400(190)	3,598(200)
予防	10(24)	111(25)	115(26)	98(23)	98(23)	98(23)
区分変更	(6)	(9)	(2)	(4)	(4)	(6)
合計	4,083(245)	3,910(238)	4,195(253)	3,674(223)	3,498(213)	3,696(223)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	3,702(205)	3,408(190)	3,362(188)	3,35(187)	3,374(188)	3,425(190)
予防	102(23)	111(25)	98(23)	98(23)	115(25)	107(25)
区分変更	(3)	(1)	(2)	(4)	(2)	(3)
合計	3,805(228)	3,519(215)	3,460(211)	3,421(210)	3,489(213)	3,532(215)

※単位：千円

※（ ）は利用者数

◎ 喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたか

○総括

年度初めは、登録数10名でのスタートであった。当年度の入退者の内訳は、入：一般デイからの移行0名、和みデイから0名、新規利用者3名。中止：施設入所1名、入院2名、拒否で1名、であり年度末10名となった。

認知症状が進み、日常生活の自立度が低下して在宅生活が困難となり、施設入所希望の方もいる中で、出来る限りながく在宅生活を継続できるよう、利用者本人、家族、主治医と連携を取りながら、ニーズに沿った通い日数や時間、訪問回数、泊り回数の増加を検討し実施している。

通いサービスでは、新型コロナウイルス感染症が5類扱いとなり、行動の制限が緩和され、施設外の行事を開催した。「桜珈琲の選べるケーキセット」「能勢のいちご狩り」「道の駅でお買い物」「しらとりの郷へ桜を観に行こう」など。施設内行事の開催では昼食を利用者の目の前で調理パフォーマンス「揚げたて豪華天ぷら」「ちゃんこ鍋」「すき焼き」などを提供し、利用者の満足度が少しでも得られるように企画した。施設内外において、行事参加者からたくさんの笑顔と喜びの声を頂いた。

感染症の蔓延防止の為、手洗い・うがい・手指消毒・マスク着用・換気の強化等の徹底に努めており、今後も継続して行う。

運営推進会議においては、引き続き対面会議ではなく書面にて対応することとなった。

令和5年度の売上は2,740万円となり、昨年度と比較して288万円の減額となった。ホームページを通して、他事業所や家族の方より、新規の問い合わせは増加している。しかしながら、遠方や連泊泊りサービスなどの理由により断らざるを得ないケースも多い。

現在登録されている利用者個々の多様化するニーズにできるだけ対応することができるよう心掛けながら、況を十分考慮した上で、利用登録者増加を目指していく。

○年間売上表

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入	2,422 (11)	2,662 (12)	3,136 (13)	3,215 (14)	3,141 (14)	2,669 (13)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	2,350 (11)	2,108 (9)	2,348 (10)	1,912 (8)	1,907 (8)	2,424 (10)

・令和5年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入	2,428 (10)	2,501 (10)	2,415 (10)	2,392 (10)	2,331 (11)	2,448 (11)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	2,438 (11)	2,006 (11)	2,099 (11)	2,085 (11)	2,120 (10)	2,143 (10)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

○令和5年度の年間スローガン、行事報告

令和5年度の年間スローガン、行事報告に関しては、デイサービス・認知症対応型デイサービスを参照。

◎ ゆたか訪問介護ステーション

○総括

令和5年度において、前年に引き続き業務継続に向けた取り組み、事業所加算取得における体制整備の構築を軸に取り組んだ。

主にBCPの作成をするにあたり、事業所初となる防災訓練を実施。

事前に防災研修を開催する事で、スタッフの防災意識を高め、利用者宅で防災グッズを確認したり、防災用のリュックを利用者と相談しながら作るなどヘルパー各自が工夫し取り組んでくれた。その後、SNSを活用する事で、防災訓練を実施したが、新たな課題が多く表出し今後につながる良い経験となった。令和6年1月の能登半島地震の際は、自らが安否を報告するなど画期的に取り組むことができた。このような活動を通し、より実務的なBCPが作成できたといえる。

各委員の活動としては、身体拘束・虐待防止委員会にて毎月気になる案件について取り上げ、法人委員会に報告・相談するなどの対応をとっている。

次いで、事業所加算の取得に向け、年度を通し個別研修会を開催。

個別研修計画を策定し、各ヘルパーが学びたい事をアンケートにて集計し、サービス提供責任者が研修担当を務める事で双方のスキルアップにつながったと考える。

併せて、事業所内定例会議を開催し全スタッフが同じ方向で業務に取り組むことができるよう努めた。

人員については、昨年度同様ヘルパーの高齢化が著しく、体調不良や身体的な理由で休職を余儀なくされるスタッフが多い現状が続いている。

特に夏場は、屋外移動やエアコンのない利用者宅への訪問、外出介助・入浴介助など負担が大きい事から、夏季手当を支給するなどの取り組みも開始した。

退職入職など若干の入れ替わりはあるものの、年度を通し平均33名の登録ヘルパー、7名のサービス提供責任者が稼働し、日々利用者の生活を支えている。

利用者数は増加傾向にあり、収益は年間を通し概ね1千万を超える売り上げが保てるようになってきている。

しかしながら、年度末にかけた数か月、スタッフの休職などが相次ぎマンパワー不足が顕著となり、新規受け入れが困難な状態が続いてしまったことが残念でならない。

様々な求人媒体を活用し人材確保に努めているところである。

次年度より、訪問介護記録をデジタル化するにあたりシステム導入・使用方法、個人情報取り扱い、運用方法、新たに加わる業務、必要がなくなる業務などについて検討を重ねてきた。

令和6年6月より本格運用を開始する予定で体勢を整えている。

また、事業所加算取得についても令和6年6月より算定開始予定とし、体制が変わる事で不安を抱える者もあるが、事業所全体でフォローしながら新体制を構築していきたい。

このような取り組みを通し、今まで以上に質の高いサービス、スタッフのスキルアップが必要となり研修体制の見直しや会議開催の取り組み、利用者の情報収集、サービス毎の報告指示など課題はあるものの、より利用者寄り添ったサービスが提供できるのではないかと期待している。

次年度においては、介護：特定事業所加算Ⅰ 障がい居宅介護：特定事業所加算Ⅱを算定予定。

介護保険、障がいサービスにおける制度改正にて単位数の増減や処遇改善加算の一本化など変更点はあるが、全体で基本単価からおおよそ20%の増収が見込まれる。

引き続き、利用者獲得・人材確保・体制構築などに取り組み、在宅介護の要となる訪問介護サービスを継続できるよう努めていきたい。

○令和5年度 ゆたか訪問介護ステーションスローガン

- ・レッツゴーゆたか カモンゆたか
- ・心をひとつ 想いをひとつ みんなでひとつ
- ・同じ目線で・人を知り寄り添える人材に
～同じ想いで・情報共有と共通認識を同じ未来を・ゆるぎないチームワークを点から線へ～
つなげるサービスつながる心

○令和5年度 研修会

事業所内研修については前年度に引き続き、オンラインと少人数参加型で実施した。

- ・ヘルパー全体研修
 - 4月 高齢者障がい者虐待防止と身体拘束（長尾）
 - 6月 認知症における段階別ケア（近藤）
 - 8月 災害時の対応について BCP の周知（橋本）
 - 10月 事故発生予防と防止（永井）
 - 12月 訪問介護のグレーゾーン（星里）
 - 3月 緊急時の対応方法・看取りについて（田淵）
- ・個別研修
 - 5月 口腔ケアについて（永井）
 - 7月 介護保険制度における理解（星里）
 - 9月 トイレ誘導における身体介護の基本（畑中）
 - 11月 交通ルール（永尾）
 - 1月 掃除の援助の基本（田淵）
 - 3月 認知症の個別ケア（橋本）

○定例会議

- 4月 虐待チェックリストについて
- 6月 虐待チェックリスト集計結果 金銭管理の取り扱いについて
- 8月 防災訓練実施について
- 10月 事故ひやりはっと報告書について
- 12月 防災訓練のまとめ 虐待アンケート集計結果 ひやりはっと提出内容周知
- 3月 記録のデジタル化・アプリ導入について 令和6年度法改正について

○年間売上表

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	6,964 (103)	7,252 (106)	7,333 (110)	7,666 (111)	8,199 (107)	6,821 (107)
予防	1,463 (75)	1,449 (73)	1,499 (71)	1,474 (74)	1,474 (74)	1,412 (72)
総合支援	1,718 (34)	1,711 (31)	1,691 (31)	1,683 (34)	1,629 (34)	1,669 (34)
保険外	36 (14)	50 (19)	37 (13)	45 (23)	47 (28)	51 (24)
合計	10,184 (226)	10,464 (229)	10,561 (225)	10,903 (242)	11,314 (243)	9,954 (237)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	7,010 (104)	6,998 (102)	7,242 (106)	6,533 (108)	6,740 (110)	6,875 (114)
予防	1,453 (74)	1,417 (73)	1,453 (74)	1,442 (72)	1,426 (73)	1,427 (73)
総合支援	1,664 (32)	1,553 (33)	1,481 (34)	1,430 (33)	1,402 (34)	1,610 (33)
保険外	51 (28)	28 (15)	49 (24)	53 (28)	41 (24)	42 (26)
合計	10,180 (238)	9,999 (223)	10,226 (238)	9,460 (241)	9,610 (243)	9,955 (246)

・令和5年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	6,796 (117)	7,512 (121)	7,242 (124)	7,029 (121)	7,214 (121)	7,336 (127)
予防	1,367 (72)	1,337 (72)	1,334 (71)	1,322 (70)	1,273 (69)	1,280 (68)
総合支援	1,615 (32)	1,816 (33)	1,762 (34)	1,759 (32)	1,827 (32)	1,736 (33)
保険外	44 (25)	49 (26)	55 (23)	22 (23)	46 (27)	47 (28)
合計	9,796 (246)	10,464 (252)	10,395 (252)	10,154 (245)	10,361 (249)	10,401 (251)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	7,630 (132)	7,368 (128)	7,162 (129)	7,009 (135)	7,178 (132)	7,293 (128)
予防	1,271 (67)	1,234 (67)	1,264 (68)	1,174 (66)	1,175 (64)	1,136 (65)
総合支援	1,819 (33)	1,783 (33)	1,777 (34)	1,705 (32)	1,706 (33)	1,776 (34)
保険外	58 (24)	67 (31)	50 (30)	40 (24)	42 (29)	53 (29)
合計	10,779 (256)	10,454 (259)	10,253 (261)	9,930 (257)	10,103 (258)	10,260 (256)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

◎ 障がい者相談支援センターゆたか

○総括

令和5年度は登録人数80名で開始した。

指定特定相談支援及び指定障がい児相談支援として、サービスの向上に努めた。利用者の紹介元として、昨年度に続き、平野区子育て支援課の比率が増えた。

令和5年度の事業の傾向としては、障害年金の申請や後見人制度の利用などの付帯する業務が多かった。年間を通して、売り上げ目標は達成できた。登録者は、年度末時点で12名増加し、92名となった。

○スローガン・研修等はゆたか訪問介護ステーションに追従

○年間売上表

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本計画	209 (12)	70 (4)	136 (8)	185 (11)	83 (5)	68 (4)
モニタリング	387 (28)	470 (34)	346 (25)	386 (28)	514 (37)	321 (23)
登録者数	(70)	(70)	(72)	(73)	(74)	(75)
合計	597 (40)	541 (38)	483 (33)	572 (39)	598 (42)	390 (27)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本計画	116 (7)	66 (4)	150 (9)	136 (8)	150 (9)	121 (7)
モニタリング	375 (27)	430 (31)	360 (26)	345 (25)	473 (34)	360 (26)
登録者数	(75)	(75)	(75)	(76)	(76)	(80)
合計	492 (34)	497 (35)	510 (35)	481 (33)	623 (43)	482 (33)

・令和5年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本計画	183 (11)	110 (6)	174 (10)	122 (7)	202 (12)	172 (10)
モニタリング	415 (30)	484 (35)	372 (27)	456 (33)	389 (28)	362 (26)
登録者数	(82)	(82)	(82)	(81)	(82)	(83)
合計	599 (41)	594 (41)	548 (37)	579 (40)	591 (40)	535 (36)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本計画	207 (12)	144 (8)	170 (10)	279 (16)	85 (5)	100 (6)
モニタリング	374 (27)	404 (29)	477 (34)	403 (29)	475 (34)	508 (36)
登録者数	(84)	(86)	(86)	(90)	(91)	(92)
合計	581 (39)	548 (37)	647 (44)	682 (45)	561 (39)	608 (42)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

◎ 平野区喜連地域包括支援センター

○総括

当センターが開設し13年目となった。事業については新型コロナウイルスの影響は少なくほぼ計画どおり実施ができた。

1. 公平且つ中立的な業務の運営確保

平野区地域包括センター運営協議会に運営状況を報告し承認を得るとともに、委員よりでた意見を踏まえて、適切、公正かつ中立な運営を確保している。

2. 地域包括ケアの推進について

①認知症総合支援事業との連携

- ・定期的に会議を持ち情報共有や意見交換を行い、顔の見える環境づくりができた。
- ・地域住民向けの講演会及び専門職向けの研修会は久しぶりに集合型で開催することができた。
- ・地域ケア会議に参画いただき、地域課題の共有と課題解決に向けて協議した。

②在宅医療・介護連携推進事業との連携について

- ・定期的に会議を持ち情報共有や意見交換を行い、顔の見える環境づくりができた。
- ・地域支援者交流会に出席してもらい、他の支援機関と連携できる環境づくりをした。
- ・地域ケア会議に参画いただき、地域課題の共有と課題解決に向けて協議した。

③生活支援体制整備事業との連携

- ・定期的に会議を持ち情報共有や意見交換を行い、顔の見える環境づくりができた。
- ・生活支援体制整備事業へ参画し、有償・居場所づくり活動プロジェクトチームの一員として事業の推進に協力した。
- ・喜連西地域の新たな社会活動の場づくりのための会議に参画し、協力・連携した。
- ・地域ケア会議に参画いただき、地域課題の共有と課題解決に向けて協議した。

3. 総合相談業務

タイムリーにランチと情報共有し、各関係機関と連携しながら業務にあたった。また、近隣のスーパーでの出張相談窓口や広報掲示板やSNSを活用し周知をした。

- ・相談実人員 909人（うち認知症疑い 266人）
- ・延べ相談件数 10,943件（うち認知症疑い 5,035件）

4. 当センター単位で実施する包括的・継続的ケアマネジメント

- ・平野区介護保険事業者連絡会居宅介護支援部会の事務局としてサポートした。ブロック別交流会に関しては集合型での開催をサポートした。
- ・地域支援者交流会を開催し、地域の介護支援専門員や地域福祉活動コーディネーター、障がい支援機関とのネットワークの強化を図った。

- ・地域のインフォーマルサービスをまとめ一覧を作成し、介護支援専門員を中心に情報提供した

5. 権利擁護業務

- ・平野区役所やランチと協働し、高齢者虐待の早期解決にむけ協働した。また、平野区内の地域包括支援センターと合同で介護支援専門員に対して高齢者虐待予防研修を開催した。
- ・地域の介護支援専門員に対して、悪質な訪問販売等の情報提供や注意喚起を行った。
- ・成年後見制度の早期活用に向け、介護支援専門員と連携し情報提供等支援を実施した。

6. その他の事業等

- ・ポレポレ体操は、感染症対策をしながら毎月開催した。
- ・認知症カフェは7月より毎月開催した。
- ・車いすの貸出事業を継続し、そこからの介護相談や支援につなげたケースもあった。

7. 介護予防支援事業について

平野区自立支援型ケアマネジメント検討会議・小会議を他圏域の地域包括支援センターと協力して開催し、地域のケアマネジャーに対して自立支援型ケアマネジメントの理念や意義を伝達した。また、高齢者の栄養に関する研修会を開催し知識の普及を図った。

○令和5年度 平野区喜連地域包括支援センタースローガン

- ・専門職・地域支援者のネットワークを広げ深めていく取り組みを積極的に進めます。
→少しずつではあるがネットワークは職種の垣根を越えて広がってきており、それは継続しつつ協働して地域の課題を解決できる体制を構築を目指す。
- ・多様な社会資源を活用し、介護保険の理念に沿ったケアマネジメントを実施します。
→インフォーマルサービスの活用については意識が高まり、ケアプラン位置づけられるようになった。更なる自立支援型ケアマネジメントの推進をはかり専門性を高めていく。
- ・就労世代への周知活動を推進し、誰もが知っているセンターを目指します。
→広く地域住民の方には知られていないため継続する。

○年間売上表

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
包括プラン	1,229 (249)	1,225 (242)	1,208 (246)	1,218 (246)	1,213 (245)	1,194 (239)
委託プラン	248 (373)	276 (382)	260 (371)	245 (366)	247 (365)	255 (355)
合計	1,477 (622)	1,501 (624)	1,468 (617)	1,463 (612)	1,460 (610)	1,449 (594)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
包括プラン	1,177 (235)	1,190 (232)	1,140 (230)	1,140 (232)	1,130 (230)	1,200 (239)
委託プラン	227 (359)	255 (359)	220 (357)	232 (357)	240 (341)	233 (344)
合計	1,404 (595)	1,445 (591)	1,360 (587)	1,372 (589)	1,370 (571)	1,433 (583)

・令和5年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
包括プラン	1,235 (246)	1,202 (242)	1,264 (254)	1,288 (257)	1,242 (251)	1,263 (254)
委託プラン	212 (329)	230 (337)	218 (335)	198 (302)	267 (323)	205 (307)
合計	1,477 (575)	1,432 (579)	1,482 (589)	1,486 (559)	1,509 (574)	1,468 (561)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
包括プラン	1,268 (255)	1,281 (259)	1,296 (262)	1,245 (253)	1,357 (267)	1,340 (266)
委託プラン	185 (306)	217 (300)	203 (297)	181 (285)	193 (287)	216 (301)
合計	1,453 (561)	1,498 (559)	1,499 (559)	1,426 (538)	1,551 (554)	1,556 (567)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

○研修報告

日時	研修名	場所	参加者
4月26日	平野区自立支援型ケアマネジメント小会議	オンライン研修	谷本
5月26日	新任・現任者向け法定研修	西喜連第5集会所	西堀 松岡
6月16日	地域包括支援センター管理者研修①	大阪市社会福祉情報研修センター	安井
6月14日	介護現場におけるハラスメント研修	オンライン研修	中西
7月28日	地域包括支援センター職員基礎研修	オンデマンド配信	西堀
8月10日	地域包括支援センター基礎研修①	大阪市社会福祉情報研修センター	岩田
8月22日	地域包括支援センター発展研修①	天王寺区民センター	安井
9月4日	障がい者支援にかかる振り返り研修	平野区役所	松岡
9月13日	平野区自立支援型ケアマネジメント小会議	オンライン研修	谷本
9月15日	高齢者虐待研修	平野区民センター	西尾
9月22日	地域包括支援センター管理者研修②	大阪市社会福祉情報研修センター	中西
10月3日	高齢者虐待対応中堅期研修	西区区民センター	小倉
10月5日	他職種研修会	浪速区民センター	岩田
10月14日	るんるんネット専門職対象研修	平野区民ホール	松本
10月17日	地域包括支援センター課題別研修	オンライン研修	西堀
10月26日	地域包括支援センター基礎研修②	大阪市社会福祉情報研修センター	小倉
11月20日 12月11日	大阪府介護支援専門員更新研修	大阪 YMCA 会館	谷本
11月24日	新任・現任者向け法定研修	西喜連第5住宅	中西 松岡
2月1日	地域包括支援センターワーキング研修	大阪市立社会福祉センター	安井
2月16日	平野区自立支援型ケアマネジメント研修	オンライン研修	西尾
2月19日	成年後見制度利用促進研修【基礎】	大阪市立社会福祉センター	西堀
2月20日	大阪市認知症医療専門職研修	オンライン研修	岩田
2月20日	長寿開発センター研修セミナー第1回	オンデマンド配信	岩田
2月29日	長寿開発センター研修セミナー第2回	オンデマンド配信	中西
3月7日	若年性認知症研修	オンライン研修	小倉
3月13日	平野区自立支援型ケアマネジメント小会議	オンライン研修	西尾
3月18日	成年後見制度利用促進研修【応用】	大阪市立社会福祉センター	小倉

※すべての研修について、普及研修を実施した。

◎ 介護付有料老人ホームゆたか

○総括

令和5年度においては『ご入居者様、ご家族様に満足して頂く』を目標に、入居者と職員が共に喜びのある時間を過ごせるよう、様々な取り組みを行ってきた。

新型コロナ流行に終息が見られるようになり、感染予防に努めた外出行事を再開。ご家族様の面会については、施設内感染の予防為、制限を継続させ入居者様、ご家族様にご不便をおかけする形となった。

8年目を迎える中、入居者の高齢化や平均介護度の上昇、ADLの低下など、様々な問題と直面しながら、適宜業務マニュアルの改善、サービス内容の変更、介護ロボットの運用、入居者の状況に合わせたケアが提供できるよう、職員会議を開き検討してきた。日常生活の変化に柔軟に対応し、その時、その人に何が必要か、【その人らしい、自分らしさ】を真剣に考え対応してきたと言える。

外出行事を行うも、コロナ流行以前のような対応が困難な状態が続く中、どのような事が入居者の楽しさにつなげる事が出来るのか、職員と入居者が一緒になって共に楽しく過ごせる時間を作るにはどうすれば良いかなどを検討し、行事やレクリエーションの取り組みを行っている。

人員に関しては、正職員やパート職員の退職もあり、新規職員の受け入れを実施しながら都度、対応を重ねている。適宜実施した職員研修では、様々な内容を取り上げ職員のスキルアップにつなげる事ができた。

ハード面では常時、設備の安全点検を実施しながら、定期的な専門業者による点検や修理、備品の整備等を行っている。一昨年度より導入した、介護ロボットも、ご入居者様の安心・安全、健康的な生活を送って頂く為に活用出来ている。

防災・消防訓練の実施やBCP（災害・感染）を作成する事で、職員・入居者共に、防災等への意識付けができ、いざという時の対応について研鑽している。

このような取り組みを行う中で、特に入居者が激減する事もなく満床に近い状態を維持しながら運営する事ができたといえる。

施設での暮らしにおいては、日常生活がいかに安全で安心した毎日であるか、また日々の生活の中で、入居者個々が自分らしい楽しみを見つける事ができる環境であるか、が大事だと考える。次年度に向けては、入居者により、充実した毎日を過ごして頂けるよう、外出機会の確保やレクリエーションの充実等、満足度の高い安心・安全な暮らしを提供できるよう職員が協力しあいながら運営していきたい。

・職員の概要

常勤職員 16名（令和6年3月31日時点）
パート職員 8名（令和6年3月31日時点）

・入居者様の概要

入居者数 29名（令和6年3月31日時点）
平均介護度 3.37（令和6年3月31日時点、要支援者除く）
平均年齢 87.1歳（令和6年3月31日時点）

○ボランティア受け入れ

新型コロナウイルス流行により、外部の方の受け入れ当年度も中止とした。

○令和5年度 介護付有料老人ホームゆたかスローガン

- ・話し合いチームで協力早期発見、事故防止
- ・インカムで小さな事でも報連相
- ・ゆとりある介護は思いやりから生まれる
- ・楽しいと思える職場作り
- ・観察力・気付く力と言う勇氣

○施設内行事・施設外行事

月	日	施設内行事・施設外行事
4	12	お花見
	19	消防訓練
5	3・4・5	しょうぶ湯
	23・30	いちご狩り
6	19	カラオケ大会
7	1	アイスコーヒーの日
	5	七夕
8	2	アイスコーヒーの日
	23	夏祭り かき氷フェスタ
9	13	アイスコーヒーの日
	20	敬老会
10	25	運動会
11	8	消防訓練
	28・29	秋の外食ツアー 長次郎 ※外出ツアーの代替え
12	20	クリスマス会
	21・22・23	ゆず湯
1	1・2	お正月 書初め
	8・9・10	初詣
2	2	節分 ぜんざいの日
	29	防災訓練
3	1	ひな祭り
	15	平野附属小学校交流会

その他：ゆたリンピック・誕生会を毎月開催

○施設内研修・施設外研修

4月10日	接遇及びハラスメントについて
5月8日	虐待防止、身体拘束廃止について
5月26日	(法人全体) 倫理、法令厳守について
5月26日	(法人全体) 個人情報(プライバシー)について
5月26日	(法人全体) 認知症について
5月26日	(法人全体) 高齢者虐待について
5月26日	(法人全体) 感染症予防研修及び訓練について
5月26日	(法人全体) 災害時研修及び訓練について
6月12日	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止について
7月10日	非常災害時の対応及びBCP(災害)について
8月14日	事故発生または、再発防止及び緊急時の対応について
9月11日	倫理、法令厳守及びプライバシー保護の取り組みについて
10月5日	認知症および認知症ケアについて
11月26日	(法人全体) 倫理、法令厳守について
11月26日	(法人全体) 個人情報(プライバシー)について
11月26日	(法人全体) 認知症について
11月26日	(法人全体) 高齢者虐待について
11月26日	(法人全体) BCP、感染症予防研修及び訓練について
11月26日	(法人全体) BCP、災害時研修及び訓練について
12月11日	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止について
1月8日	事故発生時の対応及び再発防止について
2月19日	介護予防及び介護度進行予防について
3月11日	BCP(災害・感染)及び訓練について

○年間売上表

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	30名	30名	30名	30名	30名	30名
介護保険	7,181	7,679	7,360	7,638	7,630	7,304
家賃等	5,028	4,891	5,012	5,018	4,916	4,888
合計	12,209	12,570	12,372	12,656	12,546	12,192
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	30名	30名	29名	30名	30名	29名
介護保険	7,524	6,765	6,875	7,511	6,853	7,265
家賃等	5,095	5,096	4,957	5,094	5,016	5,073
合計	12,619	11,861	11,832	12,605	11,869	12,338

・令和5年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	31名	31名	30名	29名	30名	30名
介護保険	7,312	7,466	6,891	6,852	7,090	7,003
家賃等	5,143	4,961	4,922	4,737	4,839	4,957
合計	12,455	12,427	11,813	11,598	11,929	11,961
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	30名	30名	30名	29名	29名	29名
介護保険	6,952	6,083	6,856	7,208	6,847	6,853
家賃等	4,957	4,894	4,965	4,709	4,652	4,630
合計	11,859	10,978	11,821	11,918	11,499	11,484

※単位：千円

※入居者数は請求数

◎カリーノ保育園

○総括

令和5年度は年間平均105名（特別支援児3名を含む）の在園児数になる。0歳児の4月入所がコロナ前に戻りつつあり、10名でスタートすることができたが、兄弟関係が入所できない事例が年々増加している。途中入所については役所と密に連絡を取り合い待機児童の状況等、情報を得る中で、入園に繋げていくことができた。

保育面では、新型コロナウイルスが落ち着き、様々な行事をコロナ前と同様のスタイルで行うことができた。運動会は、2～5歳児クラスの参加とし、大きな舞台での発表は子ども達の心身の成長を感じてもらえることができた。0・1歳児クラスについては子どもたちの心身の負担軽減を考慮し当日の発表は行わず後日園内で撮影を行い、DVDに収録して各家庭に配布を行った。

また、クッキング保育を主とした食育活動は旬の食材に触れ、実際に自分たちで調理することで、作る楽しさや面白さはもちろん大変さもあることに気付くことができる体験となった。子ども達だけでなく、保護者からも好評であった。

社会体験では、通常の見学だけでなく年長児は桜珈琲やなんばパークスに出かけ、普段と異なる雰囲気の中、公共施設でのマナーやルールも学ぶことができた。また、年長児だからこそそのような活動ができるということが、子どもたちの自信にも繋がる要因となった。

特別保育（HIPHOP・お菓子作り）や英語・学習遊びでは子ども達が積極的に取り組む中で、多くの刺激や学びがあり、子どもたちの中に「できた!」「楽しい!」という感覚が芽生え、心身共に成長する姿が見られた。

保護者支援として、ICT化のアップグレードを行い、従来の登・降園システムに加えて未連絡の家庭にアプリを通じて登園確認の通知が自動で配信されるようになり、より安心・安全を感じてもらえるようになった。前年度に引き続き行事やイベントの際はよりリアルタイムに子ども達の様子が伝えられるように、「保育の見える化」を大切にし、活動風景を撮影したものの掲示を行なった。降園時などにそれらのものを目にすることで「今日はどんなことをしたか」親子で話ができるきっかけとなり、保護者の方に保育園での活動を身近に感じてもらうようになった。

地域交流として、「ホームページを見て園見学を希望しました」とホームページの更新を通して当園に興味を持ってもらうことができた。見学時期が年々早くなり、4月頃から受け入れを行っている。0歳児の入所間もない姿を見てもらうことができ、保護者の方にも「預け始め」のイメージを持ってもらいやすいように感じる。

設備・環境面では、園庭には長年慣れ親しんだ遊具に代わり、新しい設備の完成に向けて工事が始まった。今までにない設備なので、植物や水などをより身近に感じ、またポンプで汲み上げる井戸ができることで、更に遊びの幅が広がるのではないかと考えている。

今後の課題として、保育士確保が年々困難になってきている。保育実習（高校、短大等）やボランティア等を通じて、早い段階からアプローチを行い、保育士養成校、ハローワーク等とより連携を深め、人材確保、人材育成に努めていきたい。

又、コロナ禍で行事の在り方等の見直しを行ってきたので、「これまでと同じ」ではな

く年度ごとに「新たな方法」で子ども達が豊かな経験をできるように記憶に残る体験を企画し、イベントや活動を通して、カリーノ保育園だからできる実体験を大切にし、生きる力を育んでいく。

今後も引き続き動向を見据えながら当園児の年齢バランスを考え、保育園を安定維持できるように努めたい。

○園児数推移

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	6 ()	8 ()	10 ()	11 ()	12 ()	12 ()
1歳児	15 ()	16 ()	15 ()	16 ()	16 ()	16 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()
4歳児	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	19 (1)
5歳児	19 (1)	19 (1)	19 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)
合 計	98 (2)	101 (2)	102 (2)	105 (2)	106 (3)	105 (2)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	12 ()	12 ()	12 ()	12 ()	12 ()	12 ()
1歳児	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21 (1)	21 (1)
4歳児	19 (1)	19 (1)	19 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)
5歳児	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)
合 計	105 (2)	105 (2)	105 (2)	106 (2)	106 (3)	106 (3)

・令和5年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	10 ()	11 ()	11 ()	10 ()	10 ()	11 ()
1歳児	15 ()	16 ()	16 ()	16 ()	15 ()	16 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	21 ()	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)
4歳児	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)
5歳児	20 (1)	21 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)
合 計	104 (2)	107 (3)	106 (3)	105 (3)	104 (3)	106 (3)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()
1歳児	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	15 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)
4歳児	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)
5歳児	20 (1)	20 (1)	19 (1)	19 (1)	19 (1)	19 (1)
合 計	106 (3)	106 (3)	105 (3)	105 (3)	105 (3)	104 (3)

※単位： 名

※ () 内は障がい児

		令和 5年度 年間行事	
4月	104人	入園式・入園、進級お祝い会	異年齢保育開始
5月	107人	こいのぼりの集い・春の遠足(5歳児) <いずみ小川いちご農園>、(4歳児) <久宝寺緑地>、(3歳児) <長居公園>・クッキング保育(お弁当作り・5歳児)・検尿	
6月	106人	運動会(2~5歳児)・保育参加・ブラッシング指導・内科検診・歯科検診・社会体験(5歳児) <桜コーヒー>	
7月	105人	プール開き・おもちゃ花火教室(5歳児)・4歳児訪問事業(平野区役所、絵本の読み聞かせ)・運動会(0・1歳児 園内でビデオ撮影)・サマーコンサート(ロック・ア・ゴーゴージュ)	
8月	104人	救命講習・プール終了・仮面ライダーイベント(5歳児・松原園合同)・おまつりごっこ	
9月	106人	消防訓練	
10月	106人	ハロウィン・お泊り保育(5歳児 松原園合同) <京都府るり溪少年自然の家> 園外保育(2歳児) <中央公園>	
11月	106人	さんま&焼き芋パーティー(5歳児)・絵本読み聞かせ(チャイルド社)・なんばパークスパイキング(5歳児) 職場体験 <摂陽中学校2年>・秋の遠足(4歳児) <キッズプラザ大阪>(3歳児) <天王寺動物園>	
12月	105人	発表会・保育実習 <城南学園高校1・3年>・内科検診・クリスマス会・クリスマスコンサート(ロック・ア・ゴーゴージュ)・年末年始休園	
1月	105人	保育始め・内科検診・保育参加	
2月	105人	節分豆まき・クリーンアップ作戦(4・5歳児)・お楽しみイベント <チョコバナナ作り・買い物ごっこ>(5歳児) 手洗い指導・保育参加・喜連西小学校学校探検(5歳児) 保育実習 <大阪芸術短期大学>	
3月	104人	ひなまつりの集い・お別れ遠足(3・4・5歳児 松原園合同) <神戸どうぶつ王国> 卒園式(5歳児)・お別れちゃんご鍋パーティー(4・5歳児) お弁当保育(0・1・2歳児)・お別れ会	↓

・その他の活動

英語遊び	週 5 回 (外国語講師)
学習遊び	週 2 回
ヒップホップダンス	月 4 回
おやつ作り	月 1 回
サッカー教室	月 1 回
巡回指導	月 1 回

避難訓練	月 1 回	担当	倉角・高橋
世代間交流	年 3 回程度	喜連西デイサービス	担当 寺崎・高山
異年齢児保育	月 1 回程度	お楽しみ会	担当 仲里・古石・高橋・小田 他
保育所体験	月 1 回程度	おやつ作り	担当 仲里 他
	随時	保育体験	担当 西野

職員研修実施報告書

カリノー保育園

【施設内研修】

	テーマ	講師	実施日	参加人数
1	救命研修	平野区消防署職員	令和5年8月2日	12
2				
3				
4				
5				

【施設外研修】

	テーマ	講師	実施日	場所	参加者
1	安全管理	寺見 陽子	令和5年9月7日	たかつガーデン	高山 春菜
2	人権保育	森本 宮仁子	令和5年9月11日	天王寺区民センター	高橋 玲奈
3	食育・アレルギー【キャリアアップ】	岩橋 明子	令和5年9月22日	オンライン研修	高橋 玲奈
4	主任保育	橋本 のりこ	令和5年9月15日	たかつガーデン	西野 有美
5	障がい児【キャリアアップ】	堀 智晴	令和5年11月1・2日	エル大阪	高山 春菜
6	保育実践	穴戸 信子	令和5年11月13日	エル大阪	小田 夏樹理
7	人権保育	荘保 共子	令和5年11月17日	エル大阪	倉角 尚徳
8	安全管理	立花 直樹	令和5年11月24日	エル大阪	今村 葵
9	主任保育	本田 久美子・森本 宮仁子	令和5年11月28日	東成区民センター	西野 有美
10	保護者支援	直島 正樹	令和5年12月22日	社会福祉会館	古石 真由美
11	保健衛生	藤城 富美子	令和6年3月15日	オンライン研修	水谷 愛羽
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					

◎松原カーリーノ保育園

○総括

当年度は、141名（障がい児7名、要保護児童7名を含む）の園児数で始まった。年度途中の退園児数が9名、入園児数が11名の入退園が激しい年になった。その主な理由は6割がマイホーム購入のための引っ越し、4割が離婚であった。そのような中で平均園児数141名を維持することができたのは保護者と職員が円滑なコミュニケーションを図れた結果だと感じている。

新型コロナ感染症が5月より第5類に移行された。これまでのWithコロナからAfterコロナへの転換に伴いコロナ前の保育に戻すことに戸惑いを感じた1年であった。しかし、その一方でコロナ時に大きく改善した行事の開催法や保育の進め方等は解除後の保育に活かせるものもあり可否判断力を高める良い機会となった。

二大行事の運動会に関しては場所見知りの多い0・1歳児クラスは園内で、2歳児クラス以上は観覧人数を一世帯3人に増やして松原第三中学校で合同開催をし、生活発表会は全クラス学年別での開催となった。その結果、0・1歳児クラスは運動会の様子に加えて普段の様子を撮影したDVDを配布したため「園での様子が見ることができてよかった」「のびのびと遊んでいる姿が可愛い」等の感想が多かった。また、2歳児以上のクラスは「学年を重ねるごとにレベルが上がり、我が子の成長を想像すると楽しみ」「効率よく観覧できた」等の意見を頂いた。保育園生活最大行事、保育証書授与式は4年ぶりに食事会やお餅つきを取り入れた。発表当初は「知らない人と同じテーブルで食べたくない」「小学生のお姉ちゃんが代わりに来てもいいですか」等の時の流れを感じさせる意見も出たが後日、全保護者から感動とお礼の言葉を頂き保護者の皆様にとっても感慨深い式及び茶話会になった。

一年間を通しては「より安心・安全な保育環境の提供と職員育成(質の向上と意識改善)の強化」を目標に掲げて研修は計画通り進めることができた。また、最重視されている園内外に向けての保育の可視化にも力を注いだ結果、園庭開放の参加者や見学者は昨年度より1.5～2倍に増え、その大半の方は「ホームページをみて興味を持ったから」という理由が多く、成果を感じている。

更に職員の福利厚生に対しても手厚くし、今年度より休日を増やし、1年目から7年目・10年目・15年目・20年目・25年目の保育士に、大阪市の保育士定着支援事業と同様の手当を法人より『職員生活応援手当』として支給することとなった。

課題分析としては、今後も出生率の低下が進み、更に0歳児の入園・保育士の確保が厳しくなる事が予想される。保護者や学生・潜在保育士から選ばれる魅力ある保育園になる為にも多方面に情報感度を高め、働く保護者や学生・潜在保育士が抱える多様なニーズとは何かを追求し、他園との差別化、養成校、地域との連携強化等様々な対策をとる必要性がある。より先を見据え社会情勢に適応できる保育運営を捻出したい。

令和6年度は最多園児数142人でのスタートとなるが、・特色ある保育、・より丁寧で個々の成長を受け止める保育、・子どもの主体性が重視される保育、を柱にして運営していく。

○園児数推移

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	12 ()	12 ()	12 ()	12 ()	12 ()	12 ()
1歳児	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()
2歳児	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)
3歳児	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)
4歳児	24 (2)	24 (2)	24 (2)	24 (2)	24 (2)	24 (2)
5歳児	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)
合 計	141 (6)	141 (6)	141 (6)	141 (6)	141 (6)	141 (6)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	13 ()	13 ()	13 ()	13 ()	15 ()	16 ()
1歳児	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()
2歳児	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)
3歳児	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)
4歳児	24 (2)	24 (2)	24 (2)	24 (2)	24 (2)	24 (2)
5歳児	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)
合 計	142 (6)	142 (6)	142 (6)	142 (6)	144 (6)	145 (6)

・令和5年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	11 ()	11 ()	11 ()	12 ()	12 ()	11 ()
1歳児	25 ()	25 ()	24 ()	24 ()	25 ()	25 ()
2歳児	26 (2)	26 (2)	26 (1)	25 (1)	25 (1)	25 (1)
3歳児	28 (1)	28 (1)	28 (1)	28 (1)	28 (1)	28 (1)
4歳児	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)
5歳児	24 (2)	24 (2)	24 (2)	24 (2)	24 (2)	24 (2)
合 計	141 (7)	141 (7)	140 (6)	140 (6)	141 (6)	140 (6)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	12 ()	14 ()	14 ()	15 ()	15 ()	17 ()
1歳児	25 ()	25 ()	25 ()	24 ()	24 ()	24 ()
2歳児	25 (1)	26 (1)	26 (2)	26 (2)	26 (2)	26 (2)
3歳児	28 (1)	28 (1)	28 (1)	28 (1)	28 (1)	28 (1)
4歳児	26 (2)	25 (2)	25 (2)	24 (2)	24 (2)	24 (2)
5歳児	24 (2)	23 (1)	23 (1)	23 (1)	23 (1)	23 (1)
合 計	140 (6)	141 (5)	141 (6)	140 (6)	140 (6)	142 (6)

※単位： 名

※ () 内は障がい児

令和5年度 行事報告書

月	園児数	行事			
4月	141	<ul style="list-style-type: none"> ・入園式・進級式・各学年クラス会 ・春の園外保育(3歳児)＜大池公園＞ ・春の園外保育(4・5歳児)＜大泉緑地＞ ・お弁当ごっこ(5歳児) ・社会体験(5歳児 おやつ購入) ・地域いちご狩り(5歳児) ・子どもの日の集い 	お菓子作り(4・5歳児) 4歳児・5歳児ヒップホップダンス		
5月	141	<ul style="list-style-type: none"> ・(中止)社会見学(5歳児)＜キッズプラザ＞ ・各学年個人懇談(希望制)・蟻虫検査・検尿・手洗い指導 ・クッキング保育(3・4・5歳児 カレー) ・保育参加(全学年) ・和泉小川いちご農園いちご狩り(5歳児 本園合同) ・交通安全指導(松原警察署来園) ・避難訓練(松原消防署来園) ・(中止)松原第三中学校 職業体験(3名 2日間) 	お誕生日会(全クラス) 異年齢保育開始(3・4・5歳児)		
6月	140	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習(太成学院大学 1名・常磐会短期大学 1名) ・歯科検診・内科検診 ・ブラッシング指導 ・(中止)中央小学校5年生 職場体験 ・サプライズ散歩(桜珈琲・中央図書館)(5歳児) ・田植え(5歳) 			
7月	140	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕の集い ・お祭りごっこ ・サマーコンサート ・救急救命講習(松原消防署来園) ・プール開き 			
8月	141	<ul style="list-style-type: none"> ・プール遊び ・菜園活動 夏野菜収穫 			
9月	140	<ul style="list-style-type: none"> ・仮面ライダーがやってきた!(全学年・本園5歳児合同) ・運動会総合練習 ・園内研修(講師:中央小学校校長) ・(中止)松原第三中学運動会(5歳児) 			
10月	140	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会・各学年クラス会・サプライズケーキ ・さつまいも掘り(2・3・4・5歳児) ・秋の園外保育(3歳児 本園合同)＜天王寺動物園＞ ・秋の園外保育(4歳児 本園合同)＜キッズプラザ大阪＞ ・(中止)松原中学校 職業体験(2人 2日間) ・稲刈り(5歳児) 	5歳児 屋寝終了		
11月	141	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習(常磐短期大学 2名) ・絵本読み聞かせ(外部講師) ・(中止)松原第二中学校 職場体験 ・秋の園外保育(3歳児 本園合同)＜天王寺動物園＞ ・秋の園外保育(2歳児)＜大池公園＞ ・サンマパーティー ・獅子舞 ・お泊り保育(5歳児 本園合同) ・保育参加(全学年) ・避難訓練(松原消防署来園) ・(中止)ヒューマンタウンフェスティバル(5歳児) ・(中止)中央小学校交流会(幼児/1年生) ・歯磨き指導(歯科衛生士来園)・手洗い指導 ・中央小学校秋祭り(5歳児) ・(中止)園外保育(5歳児本園合同)＜電車 奈良公園＞ 			
12月	141	<ul style="list-style-type: none"> ・(中止)観劇「一芸ボランティア ジャビジャビ」 ・さんま・焼き芋パーティー(4・5歳児) ・サプライズ遠足(5歳児)＜なんば バイキング＞ ・大阪府地域限定保育士講習 見学実習(2名) ・内科検診 ・サンタクロース来園・年末年始休園 			
1月	140	<ul style="list-style-type: none"> ・保育初め ・初詣 			
2月	140	<ul style="list-style-type: none"> ・節分豆まき・個人懇談(希望制) ・クッキング保育(4・5歳児 カツカレー) ・小学校交流 授業体験・給食体験(5歳児) ・生活発表会総合練習 ・生活発表会 			
3月	142	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習(大阪芸術大学短期大学部 1名) ・ちゃんこ鍋パーティー(4・5歳児) ・防犯教室(松原警察署来園) ・各学年クラス会 ・ひなまつり交流(5歳児/地域高齢者) ・コマ回し大会 ・小学校体験(5歳児 中央小学校) ・お別れ遠足(4歳児・5歳児 本園合同)＜神戸どうぶつ王国＞ ・お別れ遠足(3歳児)＜北新町公園＞ ・お別れ遠足(2歳児)＜東新町第2公園＞ ・お弁当保育(1歳児) ・お別れミニ運動会 ・卒園式&茶話会 			

・その他の活動

英語遊び	週5回(外国語講師)		
ヒップホップダンス	週1回		
おやつ作り	月1回		
異年齢児保育	週1回		
園庭開放(地域交流)	月1回 第3火曜		
避難訓練	月1回		
世代間交流	永寿会 1回	ひな祭り	当番制
	ユニール 1回	餅つき	西井・藤村
一時保育	随時		亀井・與那城
			木下・山岸
病児保育	随時		小川・與那城
			高田真・松本
			入江・小浦

令和5年度 研修受講 一覧

	研修実施事業者名	研修名	講師	実施日	場所	参加者
1	松原市	保育の中の発達支援	松野 祐美子	令和5年5月22日	松原テラス	山岸 明日香
2	松原市	自己肯定感を育てる運動遊び	村田 トオル	令和5年5月26日	第4保育所	沖本 恵音
3	松原市	障がい児クリニック後研修	おおわ けんじ	令和5年6月30日	松原カーリーノ保育園	内田 菜月
4	大阪府	幼児教育人権研修	蕨川 晴之	令和5年7月7日	オンライン	吉田 華琳
5	松原市	子どもの自己肯定感を育む保育	阿部 和子	令和5年7月12日	松原テラス	與那城未来
6	大阪府	幼児教育人権研修	蕨川 晴之	6/23~7/13	オンライン	中澤 波月
7	松原市	子どもの主体性がどのように育つのか	大倉 得史	令和5年7月27日	松原テラス	原田 桃実
8	松原市	子どもの生活に基づいた劇づくり	涍田 陽子	令和5年8月1日	松原市役所	内田 菜月
9	松原市	子どもの生活に基づいた劇づくり	涍田 陽子	令和5年8月1日	松原市役所	山岸 明日香
10	松原市	障がい児クリニック後研修	吉田 くすほみ	令和5年9月5日	松原カーリーノ保育園	小川 典子
11	一般社団法人保育ICTadvance	乳児保育	馬場 耕一郎	令和5年9月16日	オンライン	小川 典子
12	一般社団法人アジラ-ニング	幼児教育	横山 文樹	8/1~9/26 10/1	オンライン	山岸 明日香
13	一般社団法人アジラ-ニング	保護者支援・子育て支援	松原 美里	8/1~9/26 10/2	オンライン	木下 萌美
14	松原市中央小・松原カーリーノ	保小連携	幸校長	令和5年10月18日	松原市役所	原田 桃実
15	大阪府	発達障がい児支援のための保育士・幼稚園教諭研修	新谷沙弥香	令和5年10月12日	大阪府咲州庁舎	内田 菜月
16	一般社団法人アジラ-ニング	食育・アレルギー対応	米倉れい子	令和5年10月14日	オンライン	内田 菜月
17	一般社団法人アジラ-ニング	乳児保育	小野崎佳代	9/1~10/27 11/10	オンライン	多田 歩未
18	社会福祉法人妻の穂	保健衛生・安全対策	阿川勇太	令和5年11月25日	海老江ひばり保育園	藤村 一美
19	大阪府	発達障がい児支援のための保育士・幼稚園教諭研修	新谷沙弥香	令和5年8月31日	大阪府咲州庁舎	内田 菜月
20	松原市	子どもを守る0歳からの性教育	徳永桂子	令和5年6月29日	松原市役所	多田 歩未
21	社会福祉法人みんなぎ	マネジメント	高橋篤史	令和5年12月16日	近商ビル	松本 絵里
22	聖和短期大学	食育・アレルギー対応	小島ゆかり	令和6年3月19日	関西学院大学	藤村 一美
23	聖和短期大学	保健衛生・安全対策	坂口将太	令和6年3月10日	関西学院大学	高田 真理子
24	常盤会短期大学	子ども理解に基づく幼児教育	坂口静子	令和6年1月12日	オンライン	小見山のぞみ
25	常盤会短期大学	保護者との信頼関係づくり	佐谷 力	令和6年2月1日	オンライン	與那城未来
26	常盤会短期大学	子どもを尊重する保育	白川 晴美	令和6年2月2日	オンライン	中澤 波月
27	常盤会短期大学	児童虐待防止	昇 慶一	令和6年2月1日	オンライン	亀井 風音
28	常盤会短期大学	クラス集団作り	ト田真一郎	令和6年2月1日	オンライン	沖本 恵音
29	常盤会短期大学	特別な支援を要する子どもたちにどう向き合うか	五島 丸太	令和6年2月8日	オンライン	吉田 華琳
30	常盤会短期大学	保育士の専門性	中村 妙子	令和6年2月9日	オンライン	多田 歩未
31	常盤会短期大学	幼児に育みたい資質	山田 薫	令和6年2月16日	オンライン	山岸 明日香
32	常盤会短期大学	子どもと言葉	沖本和子	令和6年2月27日	オンライン	原田 桃実
33	常盤会短期大学	幼保連携の教育	藤田 敏朗	令和6年2月29日	オンライン	高田 弓恵
35	南大阪ブロック	新任職員フォローアップ	横山 文樹	令和6年1月29日	南大阪ブロック会	吉田 華琳
36	南大阪ブロック	新任職員フォローアップ	新谷沙弥香	令和6年1月29日	南大阪ブロック会	中澤 波月

平成30年度～令和 9年度 社会福祉法人ユタカ福祉会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人ユタカ福祉会		法人番号	3120005007439				
法人代表者氏名	辰己 祐剛							
法人の主たる所在地	大阪市平野区喜連西三丁目15番23号							
連絡先	06-6797-2011							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日								
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	令和 3年 6月 5日 (月)							
評議員会の承認年月日	令和 3年 6月27日 (日)							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (R02年度末現在)	1か年度目 (H30年度末現在)	2か年度目 (R01年度末現在)	3か年度目 (R02年度末現在)	4か年度目 (R03年度末現在)	5か年度目 (R04年度末現在)	6か年度目 (R05年度末現在)	7か年度目 (R06年度末現在)
	306,430	293,430	280,430	267,430	212,780	150,000	120,000	90,000
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)		13,000	13,000	13,000	54,650	62,780	30,000	30,000
	8か年度目 (R07年度末現在)	9か年度目 (R08年度末現在)	10か年度目 (R09年度末現在)	合計		社会福祉充実事業未充充分		
	60,000	30,000	0			0		
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)	30,000	30,000	30,000	306,430				
本計画の対象期間	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の	事業費 (単位：千円)
					有無	
1か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	新規	職員に対して給与等を増額する。	無	10,000
	職員育成事業	社会福祉事業	新規	職員の資質向上を図る為、研修費を補助する。	無	3,000
	小計					
2か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	10,000
	職員育成事業	社会福祉事業	既存	職員の資質向上を図る為、研修費を補助する。	無	3,000
	小計					
3か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	10,000
	職員育成事業	社会福祉事業	既存	職員の資質向上を図る為、研修費を補助する。	無	3,000
	小計					
4か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000
	通所施設空調修繕事業	社会福祉事業	新規	喜連西地域在宅SSの空調設備の改修を行う。	有	12,450
	保育所建物修繕事業	社会福祉事業	新規	カリーノ保育園の建物の改修を行う。	有	6,200
	保育所園庭井戸整備事業	社会福祉事業	新規	松原カリーノ保育園園庭に井戸を整備する。	有	6,000
	小計					
5か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000
	通所施設建物修繕事業	社会福祉事業	新規	喜連西地域在宅SSの建物の改修を行う。	有	19,980
	通所施設大浴場ろ過機修繕事業	社会福祉事業	新規	喜連西デイ・小規模多機能施設の大浴場ろ過機の修繕を行う。	有	8,000
	保育所大型遊具整備事業	社会福祉事業	新規	カリーノ保育園の大型遊具の整備を行う。	有	4,800
	小計					
6か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000
	小計					
7か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000
	小計					
8か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000
	小計					
9か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000
	小計					
10か年度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000
	小計					
合計						306,430

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	職員の処遇改善と資質向上及び安定的経営基盤の構築の為。
② 地域公益事業	①の取組みを実施する結果、残額は生じない為、実施はしない。
③ ①及び②以外の公益事業	①の取組みを実施する結果、残額は生じない為、実施はしない。

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
職員給与充実事業	計画の実施期間における事業費合計	10,000	10,000	10,000	30,000	30,000	30,000	
	財源構成	社会福祉充実残額	10,000	10,000	10,000	30,000	30,000	30,000
		補助金	0	0	0	0	0	0
		借入金	0	0	0	0	0	0
		事業収益	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	30,000	30,000	30,000	30,000	240,000		
	財源構成	社会福祉充実残額	30,000	30,000	30,000	30,000	240,000	
		補助金	0	0	0	0	0	
		借入金	0	0	0	0	0	
事業収益		0	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	0		

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
職員育成事業	計画の実施期間における事業費合計	3,000	3,000	3,000	0	0	9,000	
	財源構成	社会福祉充実残額	3,000	3,000	3,000	0	0	9,000
		補助金	0	0	0	0	0	0
		借入金	0	0	0	0	0	0
		事業収益	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
通所施設空調修繕事業	計画の実施期間における事業費合計				18,700	0	0	
	財源構成	社会福祉充実残額				12,450	0	0
		補助金				6,250	0	0
		借入金				0	0	0
		事業収益				0	0	0
		その他				0	0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	0	0	0	0	18,700		
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	12,450	
		補助金	0	0	0	0	6,250	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
保育所建物修繕事業	計画の実施期間における事業費合計				13,700	0	0	
	財源構成	社会福祉充実残額				6,200	0	0
		補助金				7,500	0	0
		借入金				0	0	0
		事業収益				0	0	0
		その他				0	0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	0	0	0	0	13,700		
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	6,200	
		補助金	0	0	0	0	7,500	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
保育所園庭井戸整備事業	計画の実施期間における事業費合計				6,000	0	0	
	財源構成	社会福祉充実残額				6,000	0	0
		補助金				0	0	0
		借入金				0	0	0
		事業収益				0	0	0
		その他				0	0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	0	0	0	0	6,000		
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	6,000	
		補助金	0	0	0	0	0	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
通所施設建物修繕事業	計画の実施期間における事業費合計					19,980	0	
	財源構成	社会福祉充実残額					19,980	0
		補助金					0	0
		借入金					0	0
		事業収益					0	0
		その他					0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	0	0	0	0	19,980		
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	19,980	
		補助金	0	0	0	0	0	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
通所施設大浴場ろ過機修繕事業	計画の実施期間における事業費合計					8,000	0	
	財源構成	社会福祉充実残額					8,000	0
		補助金					0	0
		借入金					0	0
		事業収益					0	0
		その他					0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	0	0	0	0	8,000		
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	8,000	
		補助金	0	0	0	0	0	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
保育所大型遊具整備事業	計画の実施期間における事業費合計					4,800	0	
	財源構成	社会福祉充実残額					4,800	0
		補助金					0	0
		借入金					0	0
		事業収益					0	0
		その他					0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	0	0	0	0	4,800		
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	4,800	
		補助金	0	0	0	0	0	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。
 ※ 単位は千円とする。

5. 事業の詳細

事業名	職員給与充実事業	
主な対象者	当法人職員	
想定される対象者数	200名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	
事業内容	当法人の職員に対する給与等を増額する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	2か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	3か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	4か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	5か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	6か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	7か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	8か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	9か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	10か年度目	全職員に対して給与等を増額。
事業費積算 (概算)	平成30年度より3か年間 年間 10,000 千円×3年間= 30,000 千円 令和 3年度より7か年間 年間 30,000 千円×7年間=210,000 千円	
	合計	240,000 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 240,000 千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	職員育成事業	
主な対象者	当法人職員	
想定される対象者数	50名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和 3年 3月31日	
事業内容	当法人の職員の資質向上を図る為、研修受講費用を補助する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	職員10名を対象に費用助成を実施。
	2か年度目	職員10名を対象に費用助成を実施。
	3か年度目	職員10名を対象に費用助成を実施。

	4か年度目	—
	5か年度目	—
事業費積算 (概算)	300千円×職員10名×3年間=9,000千円	
	合計	9,000千円(うち社会福祉充実残額充当額 9,000千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	通所施設空調修繕事業	
主な対象者	喜連西デイサービス・喜連西デイサービス和み・喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたかの利用者200名 喜連西地域在宅SSの職員60名	
想定される対象者数	260名	
事業の実施地域	大阪市平野区	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	
事業内容	喜連西地域在宅SSの空調機器の不具合等が生じていることから、機器の修繕・交換等を行い、施設利用者及び職員に安全で良好かつ快適な生活環境を整える。 また、感染症の予防、光熱費の削減を図る。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	施設空調機器の修繕・交換等を行う。
	5か年度目	
	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10か年度目	
事業費積算 (概算)	空調機器修繕費用として 18,700千円 (内、社会福祉充実残額充当額にて12,450千円、先進的省エネルギー投資促支援事業費補助金にて6,250千円を計上予定。)	
	合計	18,700千円(うち社会福祉充実残額充当額 12,450千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	保育所建物修繕事業	
主な対象者	カリーノ保育園園児100名 カリーノ保育園職員25名	
想定される対象者数	125名	
事業の実施地域	大阪市平野区	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	
事業内容	カリーノ保育園外壁の劣化の為、亀裂及び欠損部から風雨による漏水等がみられる。また、3Fトイレ・沐浴室・調乳室の壁が劣化しはがれている。これらの修繕により建物の長寿化を図るとともに園児及び職員に安全で快適な環境を確保する。 また、水災害時等における事態の拡大化の予防を図っていく。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	カリーノ保育園の修繕工事を行う。
	5か年度目	
	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10か年度目	
事業費積算 (概算)	修繕費用として 13,700千円 (内、社会福祉充実残額充当額にて6,200千円、大阪市民間保育所等大規模修繕費補助金にて7,500千円を計上予定。)	
	合計	13,700千円(うち社会福祉充実残額充当額6,200千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	保育所園庭井戸整備事業	
主な対象者	松原カリーノ保育園園児145名 カリーノ保育園職員35名	
想定される対象者数	180名	
事業の実施地域	松原市	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	

事業内容	松原カリーノ保育園の園庭に井戸を設け、周りに木々の植栽や小川等を設置することにより、園児に自然と触れ合うことのできる快適な環境を提供する。 また、井戸水の利用により水費用の削減を行う。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	松原カリーノ保育園の園庭に井戸を設置する。
	5か年度目	
	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10か年度目	
事業費積算 (概算)	井戸設置費及び周辺設備施工費として 6,000千円	
	合計	6,000千円（うち社会福祉充実残額充当額 6,000千円）
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	通所施設建物修繕事業	
主な対象者	喜連西デイサービス・喜連西デイサービス和み・喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたかの利用者200名 喜連西地域在宅SSの職員60名	
想定される対象者数	260名	
事業の実施地域	大阪市平野区	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	
事業内容	喜連西地域在宅SSの建物（築20年以上）の外壁に亀裂及び欠損等の経年劣化がみられ、今後、水災害時や施設運営において甚大な支障をきたすことが予想される為、これらの修繕により建物の長寿化を図るとともに、施設利用者及び職員に安全で快適な環境を確保する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	喜連西地域在宅SSの建物の修繕を行う。

	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10か年度目	
事業費積算 (概算)	修繕費用として、 19,980 千円	
	合計	19,980 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 19,980 千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	通所施設大浴場ろ過機修繕事業	
主な対象者	喜連西デイサービス・喜連西デイサービス和み・喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたかの利用者 200名	
想定される対象者数	200名	
事業の実施地域	大阪市平野区	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	
事業内容	喜連西地域在宅 SS の建物(築20年以上)の大浴場ろ過機に経年劣化がみられ、ろ過機能が低下している。今後感染症の拡大などが予想される為、これらの修繕により施設利用者に安全で快適な環境を確保する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	喜連西地域在宅 SS の大浴場ろ過機の修繕を行う。
	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10か年度目	
事業費積算 (概算)	修繕費用として、 8,000 千円	
	合計	8,000 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 8,000 千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	保育所大型遊具整備事業	
主な対象者	かりーノ保育園園児	
想定される対象者数	200名	
事業の実施地域	大阪市平野区	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	
事業内容	かりーノ保育園園庭の大型遊具（木製）に経年劣化等がみられ、都度修繕を行うも、長期間使用を禁止する等、安全で快適な運営に支障をきたす為、新規に大型遊具の整備を行い、園児が健やかに成長できる環境を整える。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	かりーノ保育園園庭に大型遊具の整備を行う。
	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10か年度目	
事業費積算 (概算)	大型遊具の撤去費及び新規設置等 4,800千円	
	合計	4,800千円（うち社会福祉充実残額充当額 4,800千円）
地域協議会等の意見とその反映状況		

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

当初（平成30年度）計画の5か年度計画を遂行し3か年目を終了した時点で、充実残額が当初の2倍を超えた為、計画の見直しを図ったが、残り2か年での計画変更は困難である。もって平成30年度からの計画を10か年計画として見直し、社会福祉充実残額の活用計画を作成する。

◎社会福祉充実計画についての報告

○総括

令和5年度における社会福祉充実計画については、令和4年度計画より延期されていたカーリーノ保育園「保育所大型遊具整備事業」を井戸の整備と水遊びができる設備を整えることで事業完了した。また、「職員給与充実事業」も通年通り遂行できた。事業費は予定額4,800,000円に対して7,637,487円であった。

4か年目(令和3年度)に掲げていた松原カーリーノ保育園の「保育所園庭井戸整備事業」に関しては、昨年引き続き当年度も整備することが出来なかった。これは、工事前準備として地下水脈の水質検査を行った結果が芳しくなかったから(人体に健康被害当の作用はないが、魚などの生き物の生息に不向きである)である。よって昨今の猛暑を避けるため園庭に日差しよけシートを張るなどの計画変更も視野に入れて検討したが、工事業者事に日よけシートの事前見積もりを行ったところ、費用が当初計画の約3倍と高額になった為(1,500万円程度)、計画を保留している次第である。更に前年度計画にあった「通所施設建物修繕事業」についても今年度においても建物タイルや防水面に急を要するような老朽化はなく、計画は再度延期となった。

また、今年度は計画には予定していなかった社会福祉充実事業として、喜連西デイサービスの道路を挟んで斜め前方にあった岩切診療所跡地土地建物を購入した。こちらには障がい者福祉事業をもとにした事業所を令和6～7年度までに設置運営する予定である。

令和6年度においても、できるだけ計画に沿った事業計画を遂行させていくが、建築資材の高騰などがあり、計画金額の大幅な修正等も見込まれる。より充実した福祉サービスを地域住民に届けることが出来るよう社会福祉充実残額の活用を深く検討していくこととする。